

ごのへ議会だより

Gonohe Assembly News

第14回定例会 (令和3年6月定例会)

第13回臨時会	2	一般質問 (3人)	5
第14回定例会	3	議員インタビュー	8
第15回臨時会	4	議場見学の感想・編集後記	10

議会広報
令和3年7月
第40号



関連記事 議場見学の感想 (10ページ)

令和3年7月1日、社会科見学の 일환で、五戸小学校6年生70人が議場見学に訪れました。

実際に議員席や説明員席に座ってマイクで発言するなど、議場の雰囲気を経験しながら、町議会の役割について理解を深めている様子でした。

第13回 令和3年4月 臨時会

4月30日に1日間の会期で臨時会が開催されました。

議決件数 14件			
原案可決	同意	承認	認定
1件	0件	13件	0件

町長提出案件

専決処分の承認 13件

条例の一部改正 4件

- ① 五戸町町税条例及び五戸町町税条例の一部を改正する条例の一部改正

【内容】

・ 地方税法の一部改正に伴うもの

- ② 五戸町承認地域経済牽引事業のために設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正

【内容】

・ 地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律第26条の地方公共団体等を定める省令の一部改正に伴うもの

- ③ 五戸町介護保険条例の一部改正

【内容】

・ 新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部改正により、感染症の定義規程を改め、保

険料の減免措置の延長について定めるもの

- ④ 五戸町過疎地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正

【内容】

・ 過疎地域自立促進特別措置法の失効に伴う経過措置を定めるもの

令和2年度補正予算 9件

- ① 一般会計補正予算(第13号)

・ 補正額(減額) △2260万5千円
・ 予算総額 114億7844万8千円

【主な歳入増額】

・ 地方消費税交付金 4880万円
・ 地方交付税 7064万2千円

【主な歳入減額】

・ 繰入金 △5749万1千円
・ 町債 △7290万円

【主な歳出増額】

・ 病院事業会計負担金 3億7245万8千円

・ 町道舗装修繕工事費 487万円

【主な歳出減額】
・ 病院事業会計健診業務負担金 △3801万8千円

除雪作業業務委託料 △3522万1千円

- ② 後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)

・ 補正額(減額) △1449万1千円

・ 予算総額 4億7648万円

- ③ 国民健康保険特別会計補正予算(第5号)

・ 補正額(減額) △3064万7千円

【主な歳入増額】

・ 予算総額 21億6275万7千円

- ④ 下水道事業特別会計補正予算(第3号)

・ 補正額(減額) △628万5千円

- ⑤ 農業集落排水処理施設事業特別会計補正予算(第3号)

・ 補正額(減額) △586万円

・ 予算総額 1億1782万円

⑥ 簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)
・ 補正額(減額) △2397万9千円

・ 予算総額 8900万円

- ⑦ 住宅用地造成事業等特別会計補正予算(第3号)

・ 補正額(減額) △5千円

・ 予算総額 443万8千円

- ⑧ ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第2号)

・ 補正額(減額) △38万7千円

・ 予算総額 3098万4千円

- ⑨ 病院事業会計補正予算(第6号)

・ 収益的収入 3億3702万3千円

・ 増の 24億4948万4千円

・ 収益的支出 75万8千円増の

27億3204万6千円

・ 資本的収入 60万5千円増の

3億8606万4千円

・ 資本的支出 3千円減の

5億9321万2千円

審議の結果

令和3年度補正予算 1件

- ① 一般会計補正予算(第1号)

・ 補正額(増額) 1億3251万1千円
・ 予算総額(補正後) 87億7915万4千円

【主な内容】

・ 防災行政無線機能強化設備導入業務委託料 3300万円
・ 学生支援緊急給付金 1560万円

審議の結果

全員賛成で可決



第14回 令和3年6月 定例会

6月10日から15日までの6日間の会期で定例会が開催されました。

議決件数 7件			
原案可決	同意	承認	認定
7件	0件	0件	0件

町長提出案件

報告 1件

繰越明許費繰越計算書 1件

① 一般会計繰越明許費繰越計算書

【内容】

・公共交通対策事業

681万6千円

・戸籍電算化事業

642万4千円

・プレミアム商品券発行事業

2366万4千円

・社会資本整備総合交付金事業

900万円

・河川維持事業

200万円

・町立公民館改修事業

4753万9千円

・五戸ドーム改修事業

8197万円

・道路橋梁補助災害復旧事業

1700万円

令和2年度に完了が見込めないため、令和3年度に繰越して実施するもの（報告は採決しません）

規約の変更 1件

① 青森県市町村総合事務

組合を組織する地方公共団体の数の減少及び

青森県市町村総合事務

組合規約の変更

【内容】

・青森県市町村総合事務

組合の構成団体である

十和田地区食肉処理事

務組合が令和3年6月

30日をもって解散する

ことに伴い、青森県市

町村総合事務組合規約

の変更等について協議

するもの

議案に対する質疑

問 鈴木隆也議員

この規約の変更は、今年2月、十和田地区食肉処理事務組合が、施設の老朽化に伴う改修費用を負担することはできないと判断し、現在の指定管理業者である、食肉加工業者「Hミートパッカー」に、土地と建物を無償譲渡するという決定が成されたことを受けてのこと

だと思う。これまでと同様に馬のと畜は行われるのか。

答 大久保副町長

民営化により、おおむね2年後には馬のと畜が行われなくなるとの見通しが示されており、町としても、五戸地方に根付いている馬肉の食文化を守るため、生産者をはじめ、県や周辺市町村と協議を行っている。

審議の結果

全員賛成で可決



十和田食肉センター

条例の一部改正 3件

① 五戸町手数料徴収条例

の一部改正

【内容】

・個人番号カード再交付

手数料の定めに関して、

所要の改正を行うもの

② 五戸町特定教育・保育

施設及び特定地域型保

育事業の運営に関する

基準を定める条例の一

部改正

【内容】

・特定教育・保育施設及

び特定地域型保育事業

並びに特定子ども・子

育て支援施設等の運営

に関する基準の一部改

正に伴い、所要の改正

を行うもの

③ 五戸町家庭的保育事業

等の設備及び運営に関

する基準を定める条例

の一部改正

【内容】

・家庭的保育事業等の設

備及び運営に関する基

準の一部改正に伴い、

所要の改正を行うもの

審議の結果

全員賛成で可決



令和3年度補正予算 2件

① 一般会計補正予算(第

2号)

・補正額(増額)

1億463万7千円

・予算総額(補正後)

88億8379万1千円

【主な内容】

・外出促進相乗りタクシー

運賃負担金

418万7千円

・子育て世帯生活支援特

別給付金

1040万円

・新型コロナウイルス予

防接種業務委託料

843万3千円

・災害対策備品

470万5千円

・スポーツ交流センター

トイレ改修工事費

239万円

**② 住宅用地造成事業等特別
会計補正予算(第1号)**

・補正額(増額)

30万円

・予算総額

2680万7千円

【主な内容】

・パンフレットデザイン
作成業務委託料

30万円

審議の結果

全員賛成で可決

陳情 3件

**① 「最低賃金の改善と中
小企業支援の拡充を求
める意見書」の採択を
求める陳情書**

・総務常任委員会で継続
審査

常任委員会の審査結果

不採択

本会議での審議結果

起立採決の結果、賛成議
員の起立なしのため否決

**② 機関車設置に関わる陳
情書**

・総務常任委員会へ付託

常任委員会の審査結果

不採択

本会議での審議結果

賛成0人

反対12人

沢田良一 議員

和田智也 議員

柏田匡智 議員

川崎七洋 議員

鈴木隆也 議員

大久保和夫 議員

豊田孝夫 議員

大沢義之 議員

尾形裕之 議員

松山泰治 議員

古田陸夫 議員

三浦俊哉 議員

退席により棄権2人

川村浩昭 議員

中川原賢治 議員

起立採決の結果、賛成議
員の起立なしのため否決

**③ 安全・安心の医療・介
護の実現と国民のいの**

ちと健康を守るための
陳情

・民生常任委員会へ付託

常任委員会の審査結果

採択(願意妥当・意見
書の伴う議会提出案件)

本会議での審議結果

全員賛成で採択

議会提出案件 1件

意見書 1件

**① 安全・安心の医療・介
護の実現と国民のいの
ちと健康を守るための
意見書について**

【内容】

・新たなウイルス感染の
影響を最小限に抑え込
むため、医療・介護・
福祉、そして公衆衛生
施策を拡充し、十分な
財源と人員を確保する
よう国に要望するもの

審議の結果

全員賛成で可決

第15回 令和3年6月 臨時会

6月30日に1日間の会期で臨時会が開催されました。

議決件数 3件			
原案可決	同意	承認	認定
2件	0件	1件	0件

町長提出案件

専決処分の承認 1件

規約の変更 1件

**① 青森県市町村職員退職
手当組合を組織する地
方公共団体の数の減少
及び青森県市町村職員
退職手当組合理約の変
更**

【内容】

・青森県市町村職員退職
手当組合の構成団体で
ある十和田地区食肉処
理事務組合が令和3年
6月30日をもって解散
することに伴い、青森
県市町村職員退職手当
組合理約の変更等につ
いて改めたもの

審議の結果

全員賛成で承認

財産の取得 1件

**① 倉石3分団消防ポンプ
自動車(CDI)の
購入**

・(株)八戸鉄工所

2222万円

審議の結果

全員賛成で可決

業務委託契約の締結 1件

**① 防災行政無線(同報系)
環境強化業務委託**

・パナソニックシステム
ソリューションズジャ
パン(株)

3300万円

審議の結果

全員賛成で可決



消防ポンプ自動車新車両イメージ



行政防災無線設備の放送機能を強化

一般質問

◆史上初のG1制覇白毛馬「ソダシ」が大活躍!! 元祖白馬の町五戸でも、ふるさと納税返礼品やキャッチコピーに活用しては

町長 さらなる返礼品の開発と充実に取り組んでいく



おがた ひろゆき
尾形 裕之 議員



白毛馬で史上初のG1を制覇した「ソダシ」

質問①

JRA(日本中央競馬会)では、白毛馬「ソダシ」の大活躍により、空前の白馬ブームで、その馬のグッズが売れに売れているそうである。

元祖白馬の町五戸でも、ふるさと納税返礼品に活用するなど、他と差別化を図りながらナンバーワンを目指す戦略「ランチェスター戦略」を用いて、ふるさと納税受入額を増やすための対策を考えるべきではないか。

また、「五戸のおんこちゃん」に登場するキャラクター「シロ」(※1)を中心としたキャッチコピーを考えるべきではないか。

答 若宮町長

「五戸のおんこちゃん」に登場するキャラクターを活用して、返礼品の開発やキャッチコピーを考えるとなると、キャラクターのイメージを損なわないように、原作者である東京ハイジさんへ相談する必要があると考えている。

コロナ禍による巣ごもり生活の増加が影響しているためか、ふるさと納税の寄附額が伸びており、さらなる返礼品の開発と既存商品の充実に取り組み、ふるさと納税受入額の増額につなげていきたい。

◆社会福祉センター浴場の入浴料を民間と同等にするべきでは

質問①

現在、五戸町社会福祉センター浴場における65歳以上の町民の入浴料は150円であるが、このことが町内の民間業者を圧迫することとなっている。

民間業者と同等の入浴料にするなどして平等性を保つべきでは。

答 若宮町長

入浴者数が減少傾向にある五戸町社会福祉センター浴場が、現在の入浴料設定により、どれほど町内の民間業者を圧迫しているのかを計り知ることが難しい。

しかしながら、入浴料に差があることは、望ましいものではないと考えるので、平等性が保たれる方策について今後検討していきたい。

◆五戸町と与謝野鉄幹・晶子夫妻の関わりをこのへ郷土館に展示しては

教育長

郷土学習への関心の高まりが期待できるため検討していきたい

質問①

近代日本を代表する歌人である与謝野鉄幹・晶子夫妻が、大正14年(1925年)に五戸町に來町し、滞在中に五戸を詠んだ短歌(※2)がある。これをこのへ郷土館に展示し、町内の小中学生が勉強できるようにしてはどうか。

答 澤田教育長

教科書に掲載されている著名文化人と、五戸町との関わりを学ぶことで、児童・生徒の郷土学習への関心が高まること期待できるため、先人についての展示ブースを再整備する際に、与謝野夫妻と五戸町との関係等の展示も検討していきたい。

注釈(※1)



【シロ】
おんこちゃんの友達。白馬の精、のようなもの。体の大きさが自在に変わる。

注釈(※2)

【与謝野晶子が五戸町滞在中に詠んだ短歌】

長安へ
続くさきにもあらずして
寂し五戸の大路の柳

南部郷

五戸の館の丘に立つ
十和田の方に目の落ちるとて



菊万の田屋で撮影された写真
鉄幹(右から2番目)・晶子(右から3番目)

6月定例会では3人の議員が一般質問を行いました。一般質問は、一般行政、教育、選挙、農地行政など町が行う行財政全般について質問できます。



とよた たかお 豊田 孝夫 議員

◆高齢者の新型コロナウイルスワクチン接種状況は

町長 副反応の報告事例は無く順調に進んでいる

でいる

質問②

前記のうち、接種を希望しないと意思表示した方は何名いるのか。

答 若宮町長

新型コロナウイルスワクチン接種が高齢者をはじめとして行われている。65歳以上の高齢者の年齢帯別の接種状況についてどのようになっているか。また、接種率はいかにほか。

答 若宮町長

接種が始まった5月17日から6月6日現在で集計したところ、65歳以上の高齢者6950人のうち、4277人が接種しており、接種率は62%となっている。
なお、年齢帯別の接種状況及び接種率は下表のとおりである。

65歳以上の高齢者の年齢帯別接種状況

令和3年6月6日現在

年齢帯別階層	対象者	接種者	接種率
85歳以上	1,603人	1,183人	74%
80～84歳	986人	769人	78%
75～79歳	1,167人	873人	75%
70～74歳	1,620人	904人	56%
65～69歳	1,574人	548人	35%

質問③

介護施設においての接種状況はどのようなになっているか。

答 若宮町長

町内4つの特別養護老人ホームには、嘱託医がいるため、各施設で接種日や人数等を調整し実施している。その他の施設については、一般の高齢者と同様に予約をしている。ただいま接種している。

質問④

これまでに、副反応が発生した事案はあったか。

答 若宮町長

現在のところ、ワクチンを接種された方で、アナフィラキシーや重篤な副反応が発生した事案はない。

質問⑤

接種された方にお話を伺ったところ、接種後に肩の痛みやだるさ、発熱があったとのことであったが、実際はどうなのか。

答 赤坂健康増進課長

ワクチン接種後に、接種会場で15分から30分間経過観察をしている。その時は無症状であったも、帰宅後に症状が現れる方もいると伺っている。

質問⑥

12歳以上65歳未満の方々への案内及び実施はどのように行うのか。

答 若宮町長

国が示す接種順位に従い、基礎疾患のある方と教育関係者から接種を開始したいと考えている。



◆コロナ禍の影響下でも農業を持続可能な産業とするための施策は

町長 農業所得の調査結果を踏まえた救済策の検討や、スマート農業を推進していきたい

質問①

コロナ禍の影響で米の需要が激減し、令和3年産米の米価が大幅に下落することが予想される。もし、平成26年産米のような価格設定となった場合、どのような救済策を講ずるのか。

答 若宮町長

ナラシ対策や収入保険などの保険的制度の案内をしている。
町としては、平成26年度に種子購入費の助成を行っており、同様の対策を検討したい。

質問②

米作農家のみならず、果樹、畑作及び畜産農家もコロナ禍の影響を受けていると思うが、何らかの支援をするべきでは。

答 若宮町長

今年度は、川内地区の方が該当となり、トラクターの自動運転補助装置を導入した事例がある。

答 若宮町長

現在、昨年度の農業所得について調査中であり、まとめ次第、支援策を検討していきたい。

質問③

農家の担い手不足や労働力不足を補うために、ICT活用のスマート農業が進められている。当町において、推進するための施策や補助金制度はあるか。

答 若宮町長

町単独での施策は特に行っていないが、新たな技術を活用した機械や施設を導入する場合は、国からの補助金制度がある。今年度は、川内地区の方が該当となり、トラクターの自動運転補助装置を導入した事例がある。

一般質問



かわむら ひろあき 川村 浩昭 議員

質問①

五戸町では、新型コロナウイルス感染症対策に疲弊する飲食店をはじめとした、商店街の活性化のために、プレミアム付商品券や飲食店応援チケットの発行事業を行っている。このことに對し、大変有り難く感謝しているところである。

ただ、収束の見通しが立たずこの状況が続いたとすれば、まだまだ援助が必要だと思いが、その時の対策をいかに考えか。



今年3月に販売された特別プレミアム付商品券

◆**収束の見通しが立たないコロナ禍における援助を強化するべきでは**
町長 第2弾の飲食店応援チケットの発行や県外へ荷物を送る際の配送料の補助を行う

答 若宮町長

今年6月に事前申込みを受け付けした飲食店応援チケットの使用期限が11月末に終了するが、途切れることなく、第2弾のチケットの発行を12月に予定している。

このコロナ禍がいつまで続くかわからないが、全国で行われているワクチン接種の進行状況や国の対応を注視しながら、五戸町としての対策を実行していかなければならないと考えている。

質問②

県外への往来についても自粛が要請されている中、県外に暮らす家族や友人などの安否を確認するために、荷物を送るものが多くなったと町民の方々から伺っている。

その送料の補助を行う考えはないか。

答 若宮町長

コロナ禍により帰省を自粛している県外で暮らす家族等を励ますとともに、町特産品の流通拡大を図ることを目的として、「五戸町まごころ配送事業」を計画している。事業の概要としては、対象時期を7月から9月と11月から来年1月の年2回設けて、町で購入した商品や自身で生産した農産物などを送る際の配送料を、1家族1回につき2千円を上限に実費分を補助することを考えている。



◆**DC351ディーゼル機関車里帰り事業は本当に必要な事業か**
町長 五戸町の歴史を学ぶ機会の創出と鉄道ファンの新たな開拓につなげたい

質問①

五戸町で搬入しようとしているDC351ディーゼル機関車について、私が町民に聞く限りでは、あまり良い返事が聞かれないが、どうしても必要なものなのか。中止するわけにはいかないのか。

答 若宮町長

DC351ディーゼル機関車をこの郷土館に展示・保存することで、昭和43年5月に発生した十勝沖地震の被害について学ぶ機会を創出するだけでなく、過去に鉄道に携わった南部鉄道関係者や全国の鉄道ファンにも親しまれる施設になると考えている。

また、令和3年3月定例会で関連予算が可決され、事業が進行中である

ことから中止する考えはない。

意見

同じように機関車を展示している他市町村の現状や、このDC351ディーゼル機関車は、客車ではなく貨物機関車であったことなどを考慮すると、盛り上がりは一時的なものになると考える。今からでも遅くないので、是非考え直していたきたい。



DC351ディーゼル機関車

◆**町営を断念した倉石温泉の今後の進捗状況は**

質問①

倉石温泉については、五戸町が運営主体となつて温泉事業に取り組むことは令和2年度末をもって終了する一方で、今後事業承継を希望する任意団体や民間事業者等を公募することであったが、その後の進捗状況は、

答 若宮町長

温泉事業の継続には、温泉の泉温や、地中から湧出する湧水量が確保されるが大前提となるため、温泉井戸の調査をするための委託料を令和3年6月定例会へ補正予算を計上している。その調査結果により、事業継続が可能であるとすれば、事業承継を希望する任意団体や民間事業者等の公募をする予定である。

豊田孝夫議員

生年月日:昭和27年4月22日(69歳)

担当委員会:経済常任委員会

広報常任委員会(副委員長)

当選回数:2回

●議員インタビュー

町民の皆様には議会議員を身近に感じてもらうことを目的に、毎月1人ずつ議会議員のインタビューを掲載しております。

今回は広報常任委員会の副委員長を務める「豊田孝夫」議員へのインタビューです。

(インタビュー)。

広報常任委員長 川崎七洋



Q 本日はよろしくお願
いします。さっそく
ですが、「家族の構成
からお伺いしたいと
思います。

やはり、私に限らず
農家の皆様方は悩んで
おられると思いますが、
後継者不足というのが
どうしても重くのしか
かっています。

Q 豊田議員の一般質問
を傾聴している時も
思うんですが、「本当
に農業の制度などに
詳しいんだなあ」と
感心してしまいます。

いいえ、子どもたち
は別の仕事をしていま
す。悲しいですが、農業
は私の代で終わりにな
るのかなと思っています。
す。

ですが、活用できる
補助金なども部分的に
は存在していますので、
そういうのを見つけて
積極的に活用していこう
と思っています。

Q 豊田議員の稼業は
農業だと記憶してい
ますが、やはりお子
様方も農業をやって
いらっしゃるのではし
ょうか？

A 豊田孝夫議員

いいえ、子どもたち

A 豊田孝夫議員

A 豊田孝夫議員
母と妻の3人で暮らし
ております。子どもは
3人いますが、同居は
しておらず、皆町外で
仕事をしております。

Q 確かに後継者不足は
大変な問題ですね。
国でも対策に乗り
出していますが、なか
なか良い兆しが見え
ない状態だと思ってい
ます。

国の対策はあまり当て
にできないように思っ
ています。視点を全国に向け
ているためか、なかなか
自分たちの現状に合う
対策というのが出てきて
いません。

議員インタビュー



リンゴの摘果作業の様子

A 豊田孝夫 議員

日中は農作業で肉体労働していますが、議員活動では、頭を使って制度や補助金などの調査をしています。こういう頭脳労働も大事な農(脳)作業ですね(笑)。

A 豊田孝夫 議員

やはりICTを活用したスマート農業が広がっていくのではないのでしょうか。

Q 農業に関する調査・研究に余念がないことがよくわかります。

これからの農業はこうなっていく、というような展望のようなものはあるのでしょうか？

田んぼの水管理を機械が自動でやってくれたり、GPSを搭載した自動田植え機が田植えをしてくれたり、今は農作業の負担を軽減する方法が出てきています。だからといって、昔ながらのやり方を否定するわけではなく、農作業における省力・軽労化が進められることで、耕作

面積を増やして収穫量

上げるのができますし、若い人の農業への参入を促すこともできると思っています。

しかし、スマート農業の参入には大変なコストがかかります。個人でやるとなると、よほどの計画性を持ってやらなるとつづけていってしまいます。そういう農家さんをこれまでに見たことがありませんので。

また、農業法人を立ち上げるという方法もありますが、これもなかなか難しいです。スマート農業化、後継者不足という問題に対応するためにいろいろ考えたいと思っています。

A 豊田孝夫 議員

『六次産業』というのも農家だけでやるのは本当に難しいです。

近隣のいろいろな産業の方々と連携して、その共同体で『六次産業』を行うという形が成功への道じゃないかと思っています。私も、『菓子工房三福』さんや『八戸プラザホテル』さんと連携して活動しています。

A 豊田孝夫 議員

になりますよ(笑)。

『フェアリーピンク』という商標を登録したので、五戸ブランドとして、これを売り出していきます。

Q その攻める姿勢が本当に素晴らしいです。議員をやられているのもそういった攻めの姿勢の一つなのではないでしょうか？

A 豊田孝夫 議員

いいえ、単純に「町を良くしたい」という気持ちだけです。

私は農家なので、一般質問でも農業に関することが多いですが、町民



リンゴの新しい品種『紅の夢』
果肉が赤く、酸味が強いのが特徴

の皆様と国や県、町の行政職員の方々に『気付き』を持ってもらいたいという気持ちが強いです。もちろん、私自身も『気付き』を与えてもらう議員活動させていたただいているのですが、町を良くする第一歩は、その『気付き』を得ることだとつくづく思います。

町民の皆様『気付き』を行政職員の方々が受け取って政策に反映し、一歩ずつ前に進んでいく世の中を作っていきたいと思っています。

ありがとうございます。今後の活躍を期待しています。

(了)



五戸小学校6年生の皆さんからの

議場見学後の主な感想を紹介します



五戸町の議場に入ってみて、とても緊張感のある場所だなと思いました。

質問によって答える人が違うことを初めて知りました。

お忙しい中、議場や話合いの内容を説明してくれてありがとうございました。

中川原 斗真 さん

五戸町の議場では、質問をしたり、席に座れたりしたので良かったです。

議長さんは、難しい原稿を読んでいる大変な思いをしていることが分かりました。

五戸町の人たちのことを考えてくれているので、私はその努力を無駄にしないように頑張りたいです。

立花 亜菜音 さん

五戸町の議場では、議長を体験できたことがうれしかったです。原稿も読むことができ、本物の議長さんや議員さんもこのように話合いをしているということを実感できました。

議長席はふわふわしていました。

菊池 新 さん

私は、税金は建物関係に多く使われていると思っていたけれど、教育関係と衛生関係に使われていることが分かりました。

だから私は、五戸町に健康な人が増えて、元気な町になればいいなと思いました。

鹿島 茉桜 さん

町議会の話を聞いて思ったことは、議会で話し合っていることは、社会で勉強した国会の話合いとほとんど同じであることです。

地域や国を住みやすくするための話合いは、住民に欠かせないことだと思います。

どれも興味をもったので町議員もいいなと思いました。

野田 大智 さん

議場に行き分かったことは、議員の中でも各委員会があり、町民が健康で豊かに暮らせるように話し合っていることが分かりました。

だから僕たちも、五戸町をよりよい町にするために、五戸町に住む一人として、意見などを出したいです。

工藤 龍臣 さん



五戸小学校6年生の皆さん、素晴らしいご感想どうもありがとうございました。



編集後記

4月から、五戸町でも医療従事者等から順次、新型コロナウイルスのワクチン接種が始まりました。ワクチンを接種することによって、新型コロナウイルス感染症の発症を予防する効果や、重症化のリスクを軽減する効果が期待されていますので、接種対象となつている町民の皆様におかれましては、是非接種していただきたいと思ひます。

さて、今月23日には、1年間延期されていた東京オリンピックが開催されます。今年度は東日本大震災から10年の節目の年であり、当初から掲げられてきた「復興五輪」という理念のもと、世界中の人々に復興しつつある被災地の姿を発信する絶好の機会となります。人類が経験したことのないコロナ禍でのオリンピックが、安全・安心に行われ、町民の皆様をはじめ、国内外の多くの方々には自信や希望、勇気を与えてくれる大会となることを心からお祈りいたします。

委員 大久保 和夫

議会を傍聴してみませんか

9月定例会は9月9日開会予定です。

詳しくは議会事務局まで

TEL 62-2111 (代表)

日程が決まり次第「五戸ちゃんねる」五戸町ホームページでもお知らせします。

次回の議会だよりは、令和3年10月発行予定です。

議長	三浦 専治郎
発行責任者	
委員	大久保 和夫
委員	鈴木 隆也
委員	柏田 匡智
委員	和田 智也
副委員長	豊田 孝夫
委員長	川崎 七洋

広報常任委員会